

鋤柄農機(株)にて農機具を海外研修生が見学 & 実習

農機具を手がける鋤柄農機(株)に 3 月 13 日(火)、海外で農業の試験・研究・普及に携わる国の担当官が研修に訪れ、最先端の日本の農機具について学ぶとともに工場見学、農機具操作の実習を行いました。

これは、発展途上国の社会・経済の発展を支援する国際協力機構(JICA)によるJICA 集団研修「小規模農家用適正農機具開発普及コース」の一環によるもので、同社は約 50 年にわたりこの活動を支援しています。



当日は、ブータン、パキスタンなど 5 カ国 7 名の研修生が参加し、本社工場を見学後、小針工場へ移動して小型農具やトラクター操作と作業実習を行いました。研修生は、工場見学と農機具操作を通じて熱心に担当者の話しに聞き入り、積極的な質問も交わされていました。鋤柄専務は研修生に直接英語で説明し、さらに「今後も、積極的に受け入れ、途上国の農業開発を支援したい。」と意気込みをみせていました。